嚢として間違ひなしと思はれる。

7 *Speleocicurina cavicola*

この種は十六年に成♀を採集せるのみで後は多分この若蛛と目されるもの一二を採集してゐる。餘程珍妙なもので *Cicurina* に最も近く，只眼と後疣の相違により新屬とせるものである。充分な形態上の記述は出來難いが，體長 1.2 cm，腹部は灰黑色地に黃灰色數對斑を八字狀に縱に竝べてゐる。即ち洞穴産中の蜘蛛類では最も色素の豐富なものである。直眼間は直眼徑ほど，後中直眼間は直眼の 1.8，前側直眼間は直眼の 1/2 。斜前方より見て直眼は最小。尙その♀に於ては上顎前堤 3 齒後堤は片方 3，他方は 2 齒を有し，前堤は毛總を有する。下唇は大約縱橫同長。二分せる間疣の痕跡あり，後疣は長大で二節で末端の方が僅に短かつた。習性に就いては不明である。

V 主要引用文獻

植村 利夫 1936 天覽山でカネコトタテグモを採るの記 A ta Arachnologica Vol. i, No. 4

小松 敏宏 1937 カネコトタテグモの戸蓋 理學界 Vol. xxxv, No. 4

〃 1937 カナコキグモの習性 Acta Arachnol Vol. ii, No. 4

石川重治郎 1939 龍河洞の蜘蛛 同上 Vol. iv, No. 4

〃 1940 龍河洞の蝙蝠 高知教育第 692 號

小松 敏宏 1940 龍河洞産蜘蛛五種に就いて Acta Arachnol. Vol. v, No. 3

高島 春雄 1942 長野縣のテングカウモリ追記 動物學雜誌 Vol. liv, No. 5

南 洋 産 の 蛛 蜘 類 〔I〕

仲 辻 耕 次

東京農業大學動物學教室

大東亞戰爭の進展と共に吾が東亞共榮圏特に南方諸地方の動物に注意される樣に成つて來た。近時南方の動物に關する著書も種々發行されてゐるが蜘蛛方面の紹介は僅少である。南洋諸島のクモ類は前世紀の後半より現世紀の初頭に亘つて L. Koch, Thorell, Karsch, Simon, O. P. Cambridge, Dahl 及

Strand 等の諸大家に依つて研究せられてゐるが吾々に取つては餘り知られて居ない。幸に著者の大學に於て農學士明石哲三畫伯の採集にかゝる標本が收藏せられてゐる關係上多數調べる事が出來た。其の內成可く普通の種類を紹介して同好諸賢の御參考に供し度い。是等標本は明石畫伯が南方方面に於て數年に亘る繪行脚の傍採集されたものであつて同畫伯の御努力に對して玆に感謝の意を表する次第である。

ORDER OPILIONES

Suborder Mecostethi

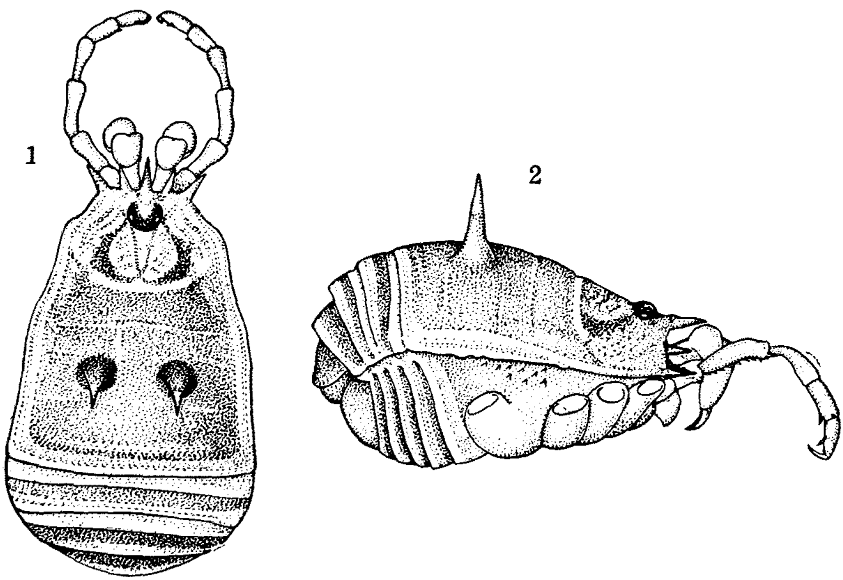
Family Assamiidae

Genus *Metassamia* Roewer

Metassamia soerensenii (Thorell)

フタトゲキンチヤクザトウムシ〔第一圖〕

♀ 體長 7.8 mm., 同幅 4.9 mm. 背面より一見するとキンチヤクを聯想



第一圖 *Metassamia soerensenii* (Thorell) ♀

1. 背面 2. 側面〔原圖〕

せしめる。背面は暗黄褐色，腹面は黄褐色．頭胸部前縁には2—1—2計5本の刺起で以て武装され，背楯は5節から形成され第IV節に1對の大形突起を具へ，第I節と第II節の境界は横溝が存する。腹板は各々遊離可動性である。眼上は前縁より其の短徑だけ離れて存してゐる，横楕圓形，長：幅＝2.8：1.8，眼は兩側にあり，中央部は黄色斑を作つてゐる。上顎は淡黄褐色，第I節の前部は半球狀に上方に隆起，第II節前面には暗色の梯子狀斑紋を具へてゐる。觸肢は特有の形を呈してゐる，腿節の基部は細く上下に扁平，前端に向ひ太い。下面には15齒内外の1齒列を持つてゐる。膝節の基部特に細く前端に向ひ太く，三角堆狀である。脛節は四角柱狀，下面外側にに有刺の側突起（2齒を持つ）1，内側に2有刺小突起がある。跗節下面兩側緣に各 有刺突起あり，其の先端には大な1爪を具へてゐる。歩脚の腿節長はI 4.9 mm, II 8.9 mm, III 65, IV 9 mm。

採集地 ビルマ・ラングーン（♀多數 6. X. X. 2599.）

ORDER ARANEINA

Suborder Protothelae

Family Aviculariidae (=Theraphosidae)

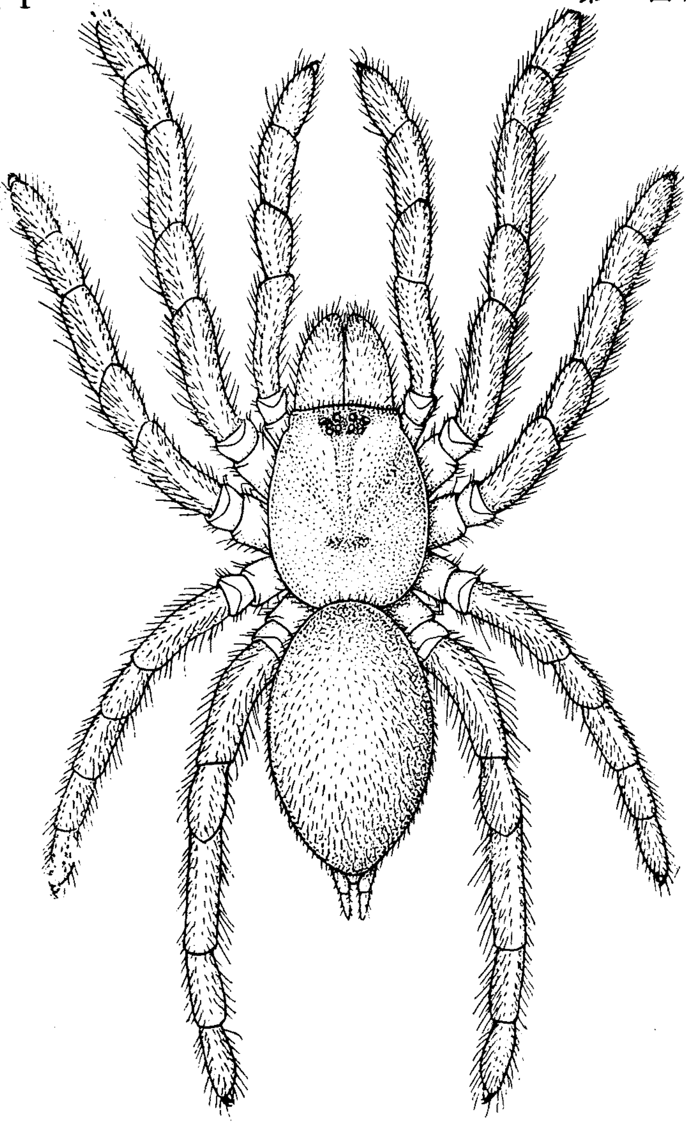
Genus *Chilobrachys* Karsch

Chilobrachys javanensis (Walckenaer)

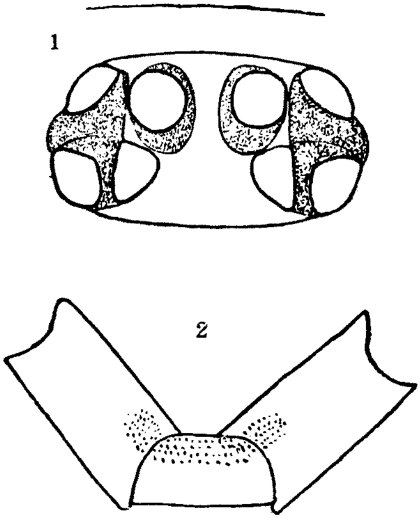
ジャバトタテグモ〔第I圖版及第二圖〕

♀ 體 15mm. 僅に赤色を帶びた褐色。背甲は前狹後廣の六角形，長は幅より優つてゐる。頸溝及放射溝は明か。中窩は後曲性（︶），後縁より1/3の所に位する。眼は前縁近くに群居してゐる，眼は2列，前眼列は殆ど端直，後眼列は僅に前曲性（︵），各側4眼宛集合して前中眼間は其の直徑の1/2より僅に廣く離れ，後中眼間は前中眼の直徑の約2倍近く離れてゐる，後中眼は略三角形，後側眼は菱形に近い形を呈してゐる。額は前中眼の直徑に等しい。上顎は赤褐色，水平に前方に突出して牙堤内側には長毛總列を，外側には10齒に餘る1齒列（耙器）を具へてゐる。下顎は黄褐色，基部にて下唇を圍み前方に擴り前内側は突起狀を形成してゐる。基部前側には微齒密集してゐる。下唇は梯形，長は幅の2倍，前緣には下顎と同樣の微齒部の横列がある。胸板は前緣截形の9角形，正中線に於て側方よりも僅に隆起してゐる。長は幅に等しい。

Pl. I 第一圖版



Chilobrachys javanensis (Walckenaer)



第二圖 *Chilobrachys javanensis* (Walckenaer)
1. 眼域 2. 下顎と下唇〔原圖〕

歩脚は頑丈で太い，蹠節及蹠節の下面には毛總を着生してゐる，蹠節端には毛束及長い單爪2及內曲してゐる下爪1を具へてゐる，第IV 基節の基部は相接してゐる。腹部は卵形，蛛疣は2對，後疣は3節よりなり長い，前疣は單節にして後疣の第I節より短小である。

採集地 ジャバ・ワテスカムポン（1♀. 28. III. 2590 (1930)）

Suborder Metathelae

Family Hersiliidae

Genus *Hersilia* Audouin

Hersilia indica (Lucas)

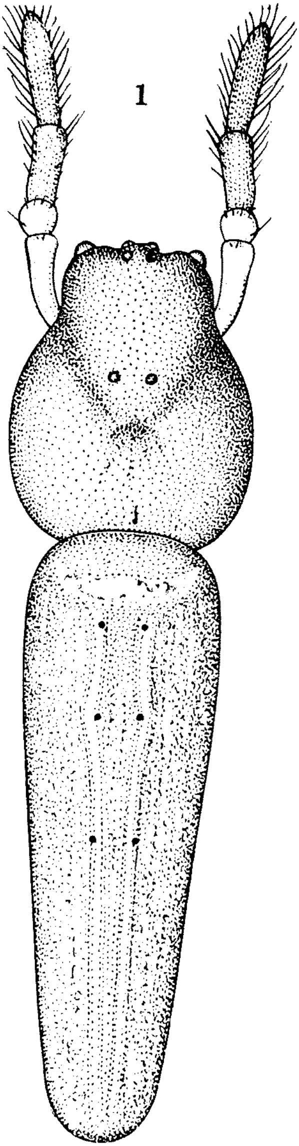
アカシナガイボグモ〔第II圖版，2圖〕

♀ 體長 6.5 mm, 背甲長 2.2 mm, 同幅 2.5 mm；腹部長 4.3 mm, 同幅 3.3 mm。背甲は淡黃褐色，圓味のある逆心形. 前部即頭部は隆起してゐる。胸部はむしろ扁平である。頸溝及放射條は明瞭. 前者は特に深刻である。中窩は縱走してゐる。眼は8眼，3列，前中眼は特に前下部に位置する。兩眼列共强く前曲（へ），前中眼は最大である。額は暗褐色，前中眼の直徑の1.5倍である。上顎は暗褐色，短小にして外髁を缺いてゐる。下顎は淡黃褐色. 下唇を圍みハ狀を呈してゐる。下唇は短舌栗果狀である。胸板は黃褐色の心形，其の後緣は第IV基節に挿入して同基節間を廣く離してゐる。歩脚は黃褐色，細長にして第III歩脚のみ短小，各節には長い褐輪紋を具へ，各蹠節端には3爪を持つてゐる。腹部は淡黃褐地に圖の樣な斑紋を具へ，前緣殆ど截形の短卵形，後

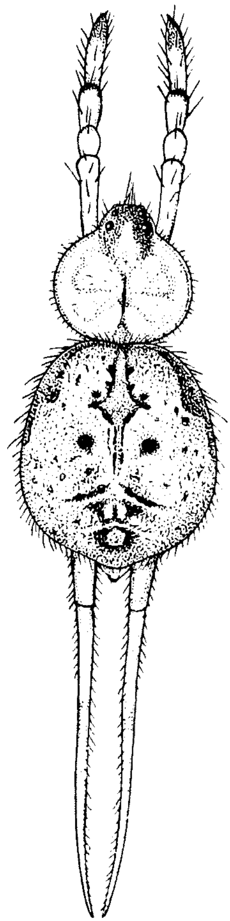
Pl. II

第二圖版

1



2



1. *Nephila maculata* (Fabricius)

2. *Hersilia indica* (Lucas)

緣の肛上部は突出してゐる。本種の特有の後蛛疣は細長にして體長に等しい，其の末節は腹部長より長い，間疣を具へてゐる。前及中疣は共に短小である。

採集地　バリ島（1♀. V. 2600 (1940)）

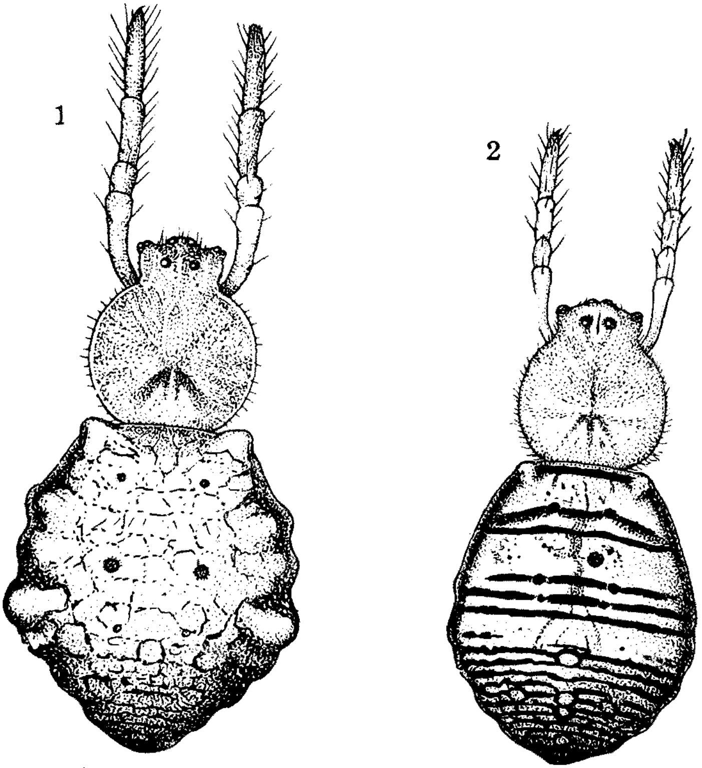
Family Argiopidae

Genus *Coganargiope* Kishida

Coganargiope intricata (Simon)

シモンアミメグモ〔第三圖，1〕

♀　本種は吾が裏南洋に産するアミメグモを想像すれば間違ひの無い割合



第三圖　1. *Coganargiope intricata* (Simon)
2. *Coganargiope striata* (Doleschall)〔原圖〕

大きい 17 mm 内外の蜘蛛である。背甲長 7.2 mm, 同幅 6.8 mm; 腹部長 1?.4 mm, 同幅 9.6 mm。背甲は赤褐色にして扁平, 全面に長白毛で被はれてゐる。頭部正中線に刺毛縦生してゐる。頸溝及放射條は明瞭 中窩は第 III 歩脚の線にありハ狀である。眼は2列. 前眼列は略端直. 後眼列は強く後曲してゐる, 中眼域の後幅>前幅, 長>幅, 側眼は相接してゐる, 前側眼は内下方を向いてゐる。額は前中眼の直徑に等しい。上顎は赤褐色, 頑丈にして前及後牙堤に各3歯を具へてゐる。下顎は葉狀, 前方に開いてゐる, 色は黒褐色にして前及内側は黃色である。下唇は基部黒褐色, 他は黃色, 短舌形である。胸板は心形, 褐色地に大な放射狀の黃色斑紋を具へてゐる, 周縁部及後縁には計7個の隆起がある。步脚は赤褐色. 頑丈にして多くの刺及毛で被はれてゐる, 跗節には3爪がある。腹部は圓味を及びた五角形にして後縁より 1/5 の所最大幅, 肩突起は顯著でないが存する。全面は黃色地に黒色の細線で以て網目狀を作り後縁部は密なる爲黒色を呈してゐる。腹面にはコガネグモ屬特有の黃色の非狀の斑紋並に其の間に3對の小斑點を具へてゐる。蛛疣は3對と間疣を具備してゐる。セレベス產のものも恐らく本種と同一種であらう。

採集地 ミンダナオ島アトンアトン (2♀. 28. XII. 2588 (1928))

Coganargiope striata (Doleschall)

ホソオビコガネグモ 〔第三圖, 2〕

♀ 體長 19 mm 内外, 背甲長 7 mm, 同幅 6 mm; 腹部長 12.7 mm, 同幅 9.8 mm。前種に良く似た種類にして腹部背面の斑紋が異つてゐるが一見見分けられる。背甲は前種と同樣であるが頭部正中線に刺毛列を缺いてゐる, 中窩は第 III の線にあり後方に向つて三叉狀をしてゐる。頸溝及放射條は明瞭である。前眼列は前曲 (︵), 後眼列は後曲 (︶) してゐる, 後中眼間>前中眼間, 中眼域の長は幅に優つてゐる。觸肢は黃色であるが, 跗節は暗色を帶びてゐる。上顎は黒褐色. 前及後牙堤には各3歯を具へてゐる。下顎は黒褐色. 前及内側は黃色. 葉狀形, 前方に開いてゐる。下唇は短舌形, 基部は黒褐色. 前半部は黃色。胸板は黒褐色地に放射狀の黃斑紋あり, 7 隆起を具へてゐる。步脚は頑丈, 黒褐色地に黃褐色輪紋を具へてゐる, 基節は殆ど黃色を呈してゐる。腹部は角の無い前縁略端直の五角形, 肩突起は僅に隆起してゐる。背面黃色地に周縁部は黒細條で取巻かれ前半部に黒橫帶2—3あり, 前2條は前縁よ

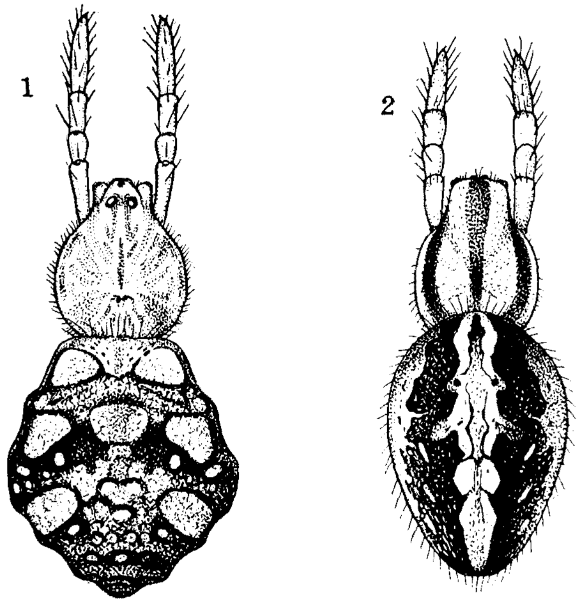
り 1/4 の所に，後 3 條は中央にある。後半部には細い黑帶相接してむしろ黃色條の虛線列の如く見られる。腹面は前種に殆ど同じ，蛛疣は赤褐色の 3 對及間疣を具へてゐる。

採集地　ミンダナオ島アトンアトン（4 ♀♀. XII. 2588 (1928)）

Coganargiope picta L. Koch

ナヽホシコガネグモ〔第四圖，1〕

♀　體長 9 mm 内外のコガネグモとしても小形の種類である。背甲長 3.4 mm，同幅 3.1 mm；腹部長 5.6 mm，同幅 4.6 mm。背甲は前種と同樣であるが兩前側眼は内下方を向き，前眼列は僅に前曲（︵），後眼列は後曲（︶）する。前側眼は最小である。頭部正中線には刺毛列は認められない。頸溝及放射條は明瞭である，中窩は後方に向ひ三叉狀を呈してゐる。觸肢は黃色 上顎は



第四圖　1. *Coganargiope picta* L. Koch
2. *Araneus theisi* (Walckenaer)〔原圖〕

黑褐色にして頑丈である。下顎は葉狀形なるもむしろ僅に長い五角形，前方に開く，基部 1/3 は黑褐色他は黃色を呈してゐる。下唇は短舌形，黃色である。胸板は黑褐色地に黃色の大な放射狀斑紋を具へ，心形である，7 隆起を具へる。步脚は黃褐色にして刺毛の附着點の周圍は靑黑色小斑點を作つてゐる。腹部は五角形，肩突起あり，中央より僅か後方最大幅　背面には黃色の大斑紋が 2—3—2 の計 7 個存する，第 2 列斑紋間に同色の 2 斑點及第 3 列との間に 4，第 3 列より後緣に至る間に 3—2 の小斑點がある。腹面には黑色地に 非 黃 色 斑紋，其の間に 3 對の小斑點及他に微小白斑點列が縱列してゐる。蛛疣は赤褐色である。

採集地　ミンダナオ島アトンアトン（1♀. 14. I. 2589 (1929)）

Genus *Araneus* Clerck

Araneus theisi (Walckenaer)

ホシスヂオニグモ〔第四圖，2〕

♀　體長 8 mm 內外の中形種で廣く吾が南洋方面に於ては分布してゐる。背甲長 3.5 mm，同幅 3 mm； 腹部長 7 mm，同幅 4.7 mm。背甲は黃褐色に 3 黑條が縱走してゐる。頸溝及放射條は明瞭にして中窩は縱走してゐる。前眼列及後眼列共に前曲（ ⌒ ）してゐる，兩側眼は相接してゐる，中眼域の前巾＞後巾，長＞幅，後側眼は最小である。觸肢は黃褐色。上顎の前面は黃灰色地に暗色の網目狀斑紋がある，前及後牙堤に各 3 齒を具へてゐる。下顎は葉狀形，前方開き，黑褐色にして前及內側は淡黃褐色である。下唇は端舌形，黑褐色前緣は淡黃褐色である。胸板は黑褐色に太い黃條縱走してゐる長心形である。步脚は淡黃褐色にして腿節—脛節の各節に 1—2 黑褐色の輪紋を具へてゐる。腹部は卵形，背面の黑褐地に正中線に黃色の桿狀の連續してゐる縱條及亞側緣に黃色の微小斑點 5 對がある。心臟斑は暗色である，然し之の斑紋は必ずしも圖の如くで無い。腹面は褐色地に 4 對の黃色の斑點を具へてゐる。之の斑點も連續してゐる。蛛疣は 3 對と間疣とがある。

採集地　ミンダナオ島アトンアトン（1♀. 22. I. 2589 (1929)）

Genus *Nephila* Leach

Nephila maculata (Fabricius)

マダラジョロウグモ〔第II圖版, 1 圖〕

南方系のクモとしては見落すわけに行かぬ體の大きい歩脚の美しい長い事に於て他の追從を許さないクモである。體長は 50 mm に達し, 歩脚は 90 mm 以上に達する。此のクモは吾が九州南部臺灣にも普通に見られる吾々には比較的馴染みの深い種類であるから記載を略して圖のみ掲載する事とした。

採集地　バリ島 (2 ♀♀. V. 2600 (1940))

智異山大源寺の蜘蛛

松　原　茂　雄　白甲鏞)

培材中學校

A List of Spiders from Mt. Tii, South Keishô-Dô, Korea

予は學友許瑩氏より 1937 年 9 月智異山大源寺 (慶尙南道) で御採集の蜘蛛類標本を御惠與願つた。此處に其の目錄を掲げ, 許瑩氏に深甚の謝意を表する次第である。尙, 此の目錄の他に種名未定のものが數種あるがこれは後日改めて發表する豫定である。

I. Argiopidae コガネグモ科

1. *Leucauge subblanda* Bösenberg et Strand, 1906 コシロガネグモ
2. *Leucauge subgemmea* Bös. et Strand, 1906 ヤミシロガネグモ
3. *Meta kompirensis* Bös. et Strand, 1906 タニマノドヨウグモ
4. *Meta doenitzi* Bös. et Strand, 1906 ドヨウグモ
5. *Gasteracantha leucomelaena* (Doleschall, 1859) トゲグモ
6. *Araneus scyllus* (Karsch, 1879) ヤマシロオニグモ
7. *A. scyllus* var. *nigromaculatus* Yaginuma, 1941 アトグロヤマシロオニグモ
8. *Araneus mellotéei* (Simon, 1895) キバラオニグモ
9. *Araneus ventricosus* (L. Koch, 1877) イヘオニグモ
10. *Miranda brünnichii* (Scopoli, 1763) ナガコガネグモ
11. *Coganargiope minuta* (Karsch, 1879) コガタコガネグモ
12. *Nephila clavata* L. Koch, 1877 ヂョロウグモ